



【発行】林野庁 東北森林管理局  
津軽白神森林生態系保全センター

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82  
TEL：0173(72)2931

## 令和6年度 第1回 森林教室の開催について

令和6年度の第1回森林教室についてお知らせします。

### ◎第1回森林教室

#### 【深緑のブナ林と青の織りなす湖沼を散策】

開催日：令和6年5月25日（土）

開催場所：青森県西津軽郡深浦町 十二湖内

募集定員：15名

【開催最少人数8名に満たない場合は中止とさせていただきます】

参加費：700円（傷害保険料として）

【参加人数により変更となる場合があります。詳細は参加者へ発送する開催要項でお知らせします】

その他：昼食・雨具等を持参。

募集期間：4月30日（火）～5月14日（火）まで

※平日8時30分～17時15分まで（土日祝日は除く）

応募方法：電話・メール・封書でお申し込みください。

詳細につきましては、ホームページ又はチラシをご確認ください。

※7月以降の各イベントについては、来月号でお知らせします。



青池にて

## 人事異動（令和6年4月1日付）

○お世話になりました

所長	高木 善隆	→東北森林管理局	総務課	地域業務対策官
自然再生指導官	赤澤 友光	→東北森林管理局	保全課	鑑定官

○よろしく申し上げます

所長	田中 邦子	←東北森林管理局	森林整備部	企画官 (技術開発・普及担当)
----	-------	----------	-------	--------------------

自然再生指導官	田中 宏明	←山形森林管理署	総括森林整備官
---------	-------	----------	---------

地域技術官	舘山 幸典	←津軽森林管理署	金木支署 森林整備官
-------	-------	----------	------------

【津軽森林管理署 保全センター付】 (経営担当)

【お世話になりました】

東北森林管理局 総務課 地域業務対策官 高木善隆

このたび4月1日付けで東北森林管理局総務企画部総務課に異動することとなりました。

令和4年に着任してからの2年間は、白神山地世界自然遺産地域の保全管理や森林環境教育等を関係機関と連携しながら進める中で、昨年度、白神山地が世界自然遺産登録30周年記念を迎え各種イベント等を通じて、自然環境をしっかりと守り、次世代に引き継いでいくことが重要であると再認識しました。

これからは、白神山地の一応援団員として、その価値や魅力を多くの方々に発信し、応援していこうと思います。今後とも津軽白神森林生態系保全センターへのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

東北森林管理局 保全課 鑑定官 赤澤友光

令和3年10月に赴任して2年半。当時は未だ新型コロナウイルスが猛威を振るっており、各種イベントも、常に開催自体が危ぶまれているなかでの活動でした。そんな中でも、楽しく、また大過なく職務を全うすることができたのも、関係機関、イベント参加者の方々をはじめとした、多くの関係者の皆様のお陰です。皆様、ほんとうにありがとうございました。

【新体制で新たにスタートにあたり、職員から一言】

所長：田中 邦子

4月1日付けの人事異動で津軽白神森林生態系保全センターに勤務することになりました田中と申します。

センター勤務は初めてとなりますが、以前平成16年から3年間津軽森林管理署に勤務していた際に白神山地関係及び森林ふれあい業務に携わっておりました。その頃に比べ、現在は白神山地周辺地域でニホンジカの生息域が拡大したり、ナラ枯れ被害も拡大してきていたり状況がだいぶ変わっておりますが、白神山地の貴重な生態系の管理と適切な利用を促進するため、巡視活動やボランティアによる自然再生活動、林業体験等を通じた森林環境教育などの取組を地域の皆様や関係機関と連携して進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

自然再生指導官：田中 宏明

4月1日付け人事異動してきました田中 宏明と申します。

前任地の山形署では、業務総括を担当していましたので、自然再生活動や森林教室、ニホンジカの監視、イベント業務等は無縁でした。森林生態系保全センター業務は初めてとなりますが、白神山地のこと、イベント関係等を少しずつ勉強して、地域の方々のご協力もいただきながら、また親しまれるようにやっていければと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 専門官：中和 範雄

昨年度は体調不良により全く現場には行けませんでした。今年度は体調を整え、現場に行き、森林教室などで参加者皆様に対して、楽しんでいただけるように工夫をしていけたらと考えています。

世界自然遺産に指定されている白神山地には、暗門の滝や十二湖など、多くの方々を知っていただきたいスポットです。そこで白神の自然を体験をしていただいて、白神山地の魅力を感じていただけたらと思います。

## 地域技術官：舘山 幸典

4月1日付けで異動してきた舘山 幸典と申します。

今まで担当したことの無い業務の自然再生活動や森林教室、ニホンジカの監視など沢山のイベント、係わったことの無い業務が有るようなので、心機一転でやっていきます。

今回の冬期間はいつになく雪が少なく、山の雪解けも早いかと思うので、白神山地周辺を歩き回り現場やイベント場所の把握に努めたいと思っています。

センター職員の皆様からご指導頂きながら、またイベント関係者などからもご協力いただき、どこの現場に行ってもまたイベント関係でもまずは安全第一で、それでいた森林教室などイベントは楽しんで頂ける様にやっていきたいと思っています。

## 非常勤職員：下山 優美

春の早い訪れと共に、4月が駆け足で通り抜ける速度に目を回しそうになっておりますが、今年も白神の絆を通じて、様々な情報をお届けできればと思っております。

さて、前年度末にホームページを更新し、新たに「白神山地の仲間たち・動物」を掲載しました。本来であれば植物のページも追加更新を予定しておりましたが、今年度中には更新したいと思っております。最後に、今年度もよろしくお願いいたします。

## ニホンジカ合同痕跡調査を実施しました

2月のニホンジカ合同痕跡調査(3月号参照)に引き続き、3月には森林総合研究所東北支所(盛岡市)に来ていただき、2日間にわたり合同痕跡調査第2弾を実施しました。1日目は深浦町(青森県側)で、前回参加いただいた弘前大学や環境省西目屋自然保護官事務所に、地元深浦町役場、東北森林管理局計画課も加わっての拡大版です。そして、2日目ははじめての秋田県側遠征! 藤里森林生態系保全センターの秋田県側調査に参加させていただきました。

まず1日目は青森県側、深浦町のフィールドです。



発見したお宝(糞)は丁寧に記録

現地に入ると、この暖冬により、山にはもう積雪はほとんどありませんでした。こういう状況だと、痕跡は土や枯れた落葉などに紛れて、とても見つけにくい。しかし、不満ばかりも言っておられません、参加者一同、目を皿のようにして二ホンジカの痕跡を探し回りました（苦笑）。

そうして、ようやく見つけた動物の糞と体毛！最初に見つけた人が声を上げると、近くにいた人たちが一斉にその場に集まります。そして、無心に採集^^

作業の合間には、森林総合研究所や弘前大学の先生方が、植物の食痕や動物の糞の見分け方、二ホンジカやカモシカの食性の研究成果などを分かりやすく教えてください、とても勉強になりました。また、深浦町役場からは、地元住民の方の情報をもとに、私たちが足を運んだことのないフィールドに案内していただきました。弘前大学の院生さんが話す研究の逸話も面白く、こういったことは合同痕跡調査ならではのことで、それをこれからも大切にしていきたいと思いました。

2日目は秋田県八峰町において、藤里森林生態系保全センターの調査に、昨日の参加者が引き続き参加しました（深浦町役場を除く）。

この日は、みぞれ交じりの雨がときおり強く降るあいにくの天気。とにかく動いていないと寒いので、俄然、痕跡を求めて一所懸命歩きましたが、カモシカやノウサギらしい痕跡が多く、二ホンジカの痕跡は見つかりませんでした。そうしている間にも、冷気を含んだ雨に身体はさらに冷えていきます。午後に入ると、雨はいよいよ強くなり、雷鳴まで轟いてきたところで、調査は散会となりました。

荒天のため、2日目の調査はなかなか辛いものとなりましたが（そんな中でも環境省のSさんはとても元気で、その若さがまぶしかったです^^）、この2日間にわたる合同痕跡調査では、さまざまな見識に触れ、情報を交換するなど、とても有意義で楽しい時間を参加者の皆さんからいただきました。今後も今回結集した皆さんと協力し、白神山地を守る活動を充実させていきたいと思えます！（赤澤）



動物の体毛を慎重に採集



現地での見分け方、講習会



ようやく見つけた痕跡に一同集合